

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名 **産業経済局**

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	豊かな自然環境と快適な生活環境の確保
	取組みの方針	都市と自然が共生するまちづくり

担当局 / 総務担当課名	産業経済局	産業政策課
連絡先	582 - 2299	

21年度計画

-4-(1)-

施策名 **市民と自然とのふれあいの推進**

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	総合農事センターの魅力高め、市民が、緑、水辺、野鳥や昆虫などの自然とふれあう機会を提供します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	都市と自然が共生するまちづくり

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		平成21年度	目標値			
	総合農事センター入場者数	年度	平成17～21年度平均		計画	年度	平成26年度	
総合農事センターは、「農業の振興」、「市民と農業の接点」、「憩いの場の提供」を基本方針に運営しています。センターの魅力向上は、市民と自然のふれあいの推進につながると考え、センターの入場者数を、指標として設定しました。	現状値	311千人		実績	319 千人	目標値	340千人	
				達成度	102.6 %			
		年度			計画		年度	
		現状値			実績		目標値	
					達成度	%		
		年度			計画		年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]			事業費	72,133 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
				うち一般財源	72,133 千円	54,000 千円		

## 局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	<b>A</b>	総合農事センターの入場者数は、平成21年度の計画に対して、実績が上回っており、最終年度の目標達成に向け順調な推移だといえます。平成21年度は、バラ園管理の充実などセンターに入場される方の満足度を上げる取組に努めました。
		総合農事センターの基本方針を着実に推進し、入場者の方に満足していただける取組を実施します。施設の維持管理費を含め、各種業務の経済性や効率性を見極め、今後、より効果的な施策の推進を図ります。
今後の局施策の方向性		

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

## 評価担当部署の意見

適切な評価  下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

施策名 市民と自然とのふれあいの推進

構成事業名	事業費			事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性		
	C時点[21年度:執行額]					21年度	21年度	
総合農事センター管理運営費			72,133 千円	54,000 千円	裁量的経費			ウ
事業費のうち一般財源			72,133 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	72,133 千円	54,000 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	72,133 千円	

局施策の  
21年度評価

**A**

【局施策評価】  
A: 大変良い状況にある  
B: 概ね良い状況にある  
C: 概ね良い状況とまでは言えない  
D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	産業経済局 総合農事センター
連絡先	961-6045

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	豊かな自然環境と快適な生活環境の確保
	取組みの方針	都市と自然が共生するまちづくり
	主要施策	市民と自然とのふれあいの推進

関連計画	
事業期間	
経費区分	裁量の経費

-4-(1)-

事業名	総合農事センター管理運営費
-----	---------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	総合農事センターは、「農業の振興」、「市民と農業の接点」、「憩いの場の提供」を基本方針として、都市型農業の振興を図るために農業に関する新技術の導入など営農問題の解決の一翼を担うほか、市民に農業を紹介し、学び、理解してもらう施設として運営しています。今後により多くの市民に農業を紹介していくとともに、憩いの場の提供を進めていきます。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	市民と自然とのふれあいの推進	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由	
		現状	野菜の品種比較試験 ・花きの用土・肥料試験 ・園芸講座の開催 ・食農講座の開催 ・パイオ苗の生産						
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標
		総合農事センター入場者数	計画	311 千人	年度	平成25年度			
		総合農事センターの入場者数を増やすためには、園内の維持管理に努めるだけでなく様々なツールを活用して入場者の増を図る必要があります。今後も試験・栽培展示の充実や、パイオ苗の生産、四季折々の植物の展示の充実にも努めます。	実績	319 千人	内容	340千人			
		達成度	102.6 %	内容					
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	事業費	72,133 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)					
		うち一般財源	72,133 千円	54,000 千円					
単年度計画									

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度は、総合農事センターの入場者数の増加を図る取り組みとして、バラ園管理の充実や中央花壇等の周年を通じた計画的な植栽を進め、入場者の皆さんに満足いただける取り組みに努めました。今後も年間を通じて市民の皆様には花や緑とふれあう場を提供できるよう計画的な施設の運営に努めていきます。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	総合農事センターの入場者数は毎年30万人を超える規模で推移しており、広く市民の皆様には自然とのふれあいの場を提供しています。また園芸の関する相談も年間千件を超え、年2回開催される園芸講座も毎年多くの参加者があります。農業の振興に関しても生産者や関係団体と連携して花きの肥料試験や野菜の品種比較展示に取り組むなど多くの成果を挙げています。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	3	施設の維持補修については、多少のことは職員が直接行うとともに、光熱水費についても最大限のコスト削減に努めています。各種委託業務についても更なる業務内容の見直しを進め経済性や効率性を高める取り組みを進めます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	施策実現のため、今後も本事業を積極的に実施していく必要が高いと考えます。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	3	現在のところ他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適当だと考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ウ	本事業は施策に対する有効性も高く、「市民と自然とのふれあいの推進」を図っていく上で重要な事業であると考えています。今後も目標の達成に向け着実な取り組みを進めていくことが適当だと考えます。各種委託業務については、更なる業務内容の見直しを進め経済性や効率性を高めるための具体的な検討を進めます。